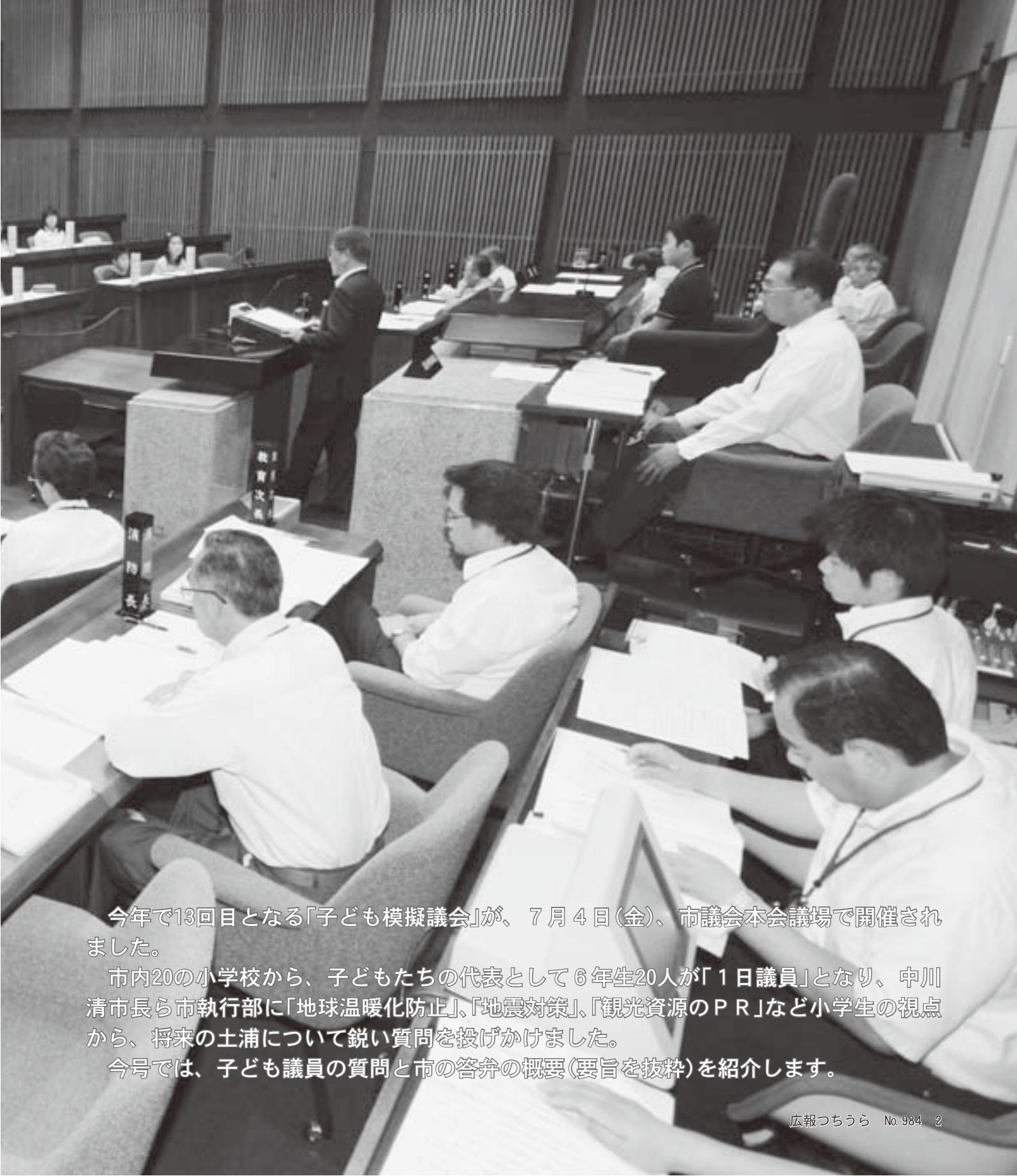


子どもたちの感性豊かな提言をまちづくりに

子ども模擬議会



今年で13回目となる「子ども模擬議会」が、7月4日(金)、市議会本会議場で開催されました。

市内20の小学校から、子どもたちの代表として6年生20人が「1日議員」となり、中川清市長ら市執行部に「地球温暖化防止」、「地震対策」、「観光資源のPR」など小学生の視点から、将来の土浦について鋭い質問を投げかけました。

今号では、子ども議員の質問と市の答弁の概要(要旨を抜粋)を紹介します。





防災・消防

- 地震対策
 - 火災対策
 - 救急救命対策

の「予防対策」、地震が発生した時の「応急対策」、被害を受けた後に「普段の生活を取り戻すための「復旧対策」を定めており、地震が起きたときには「彼らの対策を実施することになります。

次に「地震になったとき、お年寄りなどが安心して避難できる仕組みはありますか」について、避難の仕組みづくりについて、皆さん方が住んでいる地域で組織されていき、自主防災会や民生委員の人たちなどと話し合ひを進めていきます。今年度中には、一人で避難することが難しいお年寄りなどが安全に避難できるよう、近所の人たちが手助けをする仕組みができる予定となっています。

地震はいつ起きるかわからませんので、普段から地震に対する備えをしておいてください。

第に増加しています。設置する場所は、
寝室で、寝室が2階の場合は階段の天井
または壁に取り付けなければなりません
が、アパートへの警報器の設置は、誰が
取り付けたらよいのか難しい部分があり
ます。アパートを所有している方、借り
ている方がよく話し合っていただき必要
があります。

広報つらつらや市民くじの便利帳へ
の掲載、一般住宅の立入検査、消防訓練
などの機会を捉え、設置の働きかけをし
て行きたいと思います。

間で救急車が病院に搬送した件数の88.4%は1回の電話で搬送先の病院が見つかりました。3回以内の電話で、全体の99.9%が病院に収容されています。

ほんの少しですが、風邪やかすり傷で救急車を利用する人が見受けられ、そういう利用者が増え続けますと、重症の救急患者を早く病院に搬送できないことがありますので、救急車の正しい利用について、学校やご家族で話し合っていただきたいと思います。

数の88院が見つ全体の

「市では、地震対策としてじんなにことを考え、実行するのですか。また、地震になつたとき、安心して避難できる仕組みがありますか」については、地震が起きたときに市民の皆さんが安全に避難しきる限り被害が少なくなつように、地域防災計画を作り、あらかじめ地震に備えた対策を講じています。具体的には、「予防対策」、地震が発生した時の「応急対策」、被害を受けた後の「普段の生

全国の住宅火災における死者数は、5年連續して1000人を超えて、昨年は152人でその60%が「逃げ遅れ」によるもので、さらに、65歳以上の高齢者が半数以上を占めています。こうしたことから、消防法令が改正されて、一般住宅にも、住宅用火災警報器の設置が義務化され、新築住宅は平成18年6月1日から既存住宅も23年5月31日までに設置することとなりました。

救急隊員は、病気やけがの状態などを観察し、現場から一番近い治療のできる病院を探します。

前山野の庄小輝

市の地震対策について

いし
崎立
雄太
さん

火災報知器の設置状況について

酒井塚小悠輔

救急病院の患者受け入れと他市町村との連携について

市民生活

□不審者対策

環境

□温暖化防止対策

□「ヨシキリ」の生態



右糀小
長濱歩美さん
市の不審者対策について

市では、平成16年7月に、市・市民・事業者および土地所有者などが一体となり、安心で安全な住みやすい社会の実現を目指すため「土浦市安心で安全なまちづくり条例」をつくり、防犯に関する事業を積極的に進めているところです。学校や町内会などの防犯教室を通して、犯罪に遭わないためのお話をしたり、青色防犯パトロール車で通学路などの見守りをしています。また、警察署からの不審者情報を学校へ連絡したり、入学時に防犯グッズを配布しています。さらには、町内会に対して防犯灯設置等の補助をするなど地域への支援もしています。

ボランティア活動である自主防犯組織は、市内174町内会のうち159町内会で結成されていますが、これは県内トップの結成率であり、右糀小地区では下校時間に合わせ、見守り活動をしています。

市では、不審者被害を防ぐため学校、PTA、町内会、防犯団体と連携し、「日本一住みやすいまちの実現」に努めます。が、長濱さんも「防犯について自分たちができることはどんなことがあるのか」を考え、楽しい小学校生活を送っていただきたいたいと思います。

(市民生活部長)

土浦市の環境問題の取り組みとしては、「土浦市環境基本計画」の中で、ごみを減らすことや省エネルギーなど、14の目標を掲げています。

特に、地球温暖化防止については、太陽光発電システムの設置補助や家庭で電気やガスを減らすことを支援する環境家計簿の配布、ひまわり油から作った燃料の使用などの取り組みを進めています。

環境問題は、多くの人が取り組めば大きな効果が生まれることがたくさんあります。

和智さんも、家族や学校で環境について考え方を広げていってください。そうすることが、地球温暖化防止につながり、土浦の自然を守るのに役立つかもしれません。

市では、皆さんに市の木・市の花・市の鳥をよく知つてもらうため、4月に下敷きを配りました。池沼や霞ヶ浦の葦原で鳴き声が聞こえたときには、耳を凝らして見てください。

(市長)



和智利出友美さん
市の地球温暖化対策と私たちが協力できることについて教えてください



菅谷小島美砂さん
市の鳥「ヨシキリ」の見られるところと市の鳥になつた理由を教えてください

ヨシキリには、約18cmで口の中が赤いオオヨシキリと、約12cmで口の中が黄色味がかったコヨシキリがいて、夏の初めに東南アジアの方から渡ってきて、湖や川などの葦原・草地に生息します。霞ヶ浦や鶴沼にもたくさんヨシキリが生息し、「ギヨギヨシ・ギヨギヨシ・ケシケシ」と鳴っていますが、ほとんどはオオヨシキリです。

市では、豊かで美しい自然に誇りを持ち、将来に引き継いでいくため、郷土の象徴として市の木・市の花・市の鳥を定めています。市の木はポプラとケヤキ、市の花はサクラ、市の鳥はヨシキリとウグイスで、多くの市民や小・中学生の皆さんから意見を募集して決まりました。選ばれた理由は、鳴き声が水郷の雰囲気を盛り上げ、水と緑の土浦市のイメージに似合う鳥で、多くの市民に愛され、親しまれ、葦の先端で鳴く声や姿は活気あふれ、市のシンボルとしてふさわしいからです。

市では、皆さんに市の木・市の花・市の鳥をよく知つてもらうため、4月に下敷きを配りました。池沼や霞ヶ浦の葦原で鳴き声が聞こえたときには、耳を凝らして見てください。

(市長公室長)

境

□水質浄化対策 □ごみ減量対策



荒川沖小
鬼沢 香帆さん
霞ヶ浦の水質浄化の
計画や目標などにつ
いて

50年くらい前の霞ヶ浦は、たくさんの水泳場があり、とてもにぎわっていました。しかし、いろいろな取り組みにもかかわらず、水質はここ10年間はほぼ同じような状況です。さまざまな排水が流れ込むことや、水深が浅く、水が入れ替わるので約200日かかるなどの霞ヶ浦の特徴によると考えられています。

霞ヶ浦をきれいにするための計画や取り組みについては、土浦市環境基本計画や生活排水対策推進計画などがあり、公共下水道や農業集落排水施設の整備、高度処理型合併処理浄化槽の普及をはじめ、環境学習やイベントでの啓発などを行なっています。

目標すべき霞ヶ浦の水質については、水泳場がにぎわっていた昭和40年代前半の水質で、国、県や多くの人たちと協力して水質浄化を進めていく考えです。

この目標を達成するためには、お皿を洗つ前に、紙などで油汚れをふき取るなど、一人ひとりが、身近な水質浄化活動を実行することがとても大切です。

鬼沢さんも、学校や家庭で、霞ヶ浦の水をきれいにするために、自分たちでできることは何かを話し合い、できることから始めてみてはいかがでしょうか。



中村小
森田 淳平さん
乙戸沼も霞ヶ浦のよ
うに水質浄化はでき
ませんか

乙戸沼は、観光やレジャーなどの利用や、雨水を一時ためて下流の乙戸川があるふれないように少しづつ流す調整池の役割、稻作などに利用する農業用水をためる池の役割も果たしていますが、長年にわたる生活排水の流入や大雨に伴う土砂のたたい積による富栄養化のため、水質が悪くなっています。また、ごみの散乱なども環境を悪くしている原因となっていることから、公園利用者へのごみの持ち帰りをお願いしています。

この乙戸沼の水質浄化を行うためには、沼の底にたまつた泥を取り除いたり、水に流れを与えることや、生活排水が流れ込まないように対するなどの対策が必要と考えられ、これらの整備を行うためには、たくさんのお金が必要になります。

生活排水の流入を防ぐために下水道の整備を図り普及に努めることや、土砂のたい積を取り除くために調整池としての利用や、農業用水として活用している関係者と水質浄化の方法や費用などを話し合いまして、計画を立てて実施できるように検討します。

水のきれいな乙戸沼の再生を目指して、公園を利用する人たちが水辺に親しめるような公園にしていきたいと思います。



大岩田小
井上瑛裕さん
ごみの減量、リサイクルについて市民の
意識を高める工夫や
対策は

一人が1日に出すごみの量は、約1.2kgで、年間にすると市全体で小学校の体育館60個分に相当します。ごみを運び出したり約1万4000円の費用がかかります。もし、市民が毎日たまご1個分、約60gのごみを減らすと、1年間で体育館3個分、約1億円減らすことができます。

「ごみ減量化、リサイクル」の意識を高める対策やアイデアについては、子ども会が資源となる新聞紙などを回収したり、町内の皆さんとのごみの分別方法や減量を話し合ったり、清掃センターを見学したり、「ごみ減量化リサイクルキャンペーントーク」を取り組んでいることなどです。

また、広報つちうらや市ホームページを活用するほか、「分別カレンダー」「ごみの分け方・出し方」などの案内を家庭に配布しています。ほかにも、燃えるごみとして処分していく草を、肥料として利用できないか検討しています。

ごみの減量化とリサイクルを進めることは、地球温暖化の防止にもつながります。皆さんも、将来の地球について話し合い、早速できることから実行していましたが、できたいと思います。

(都市整備部長)

(市民生活部長)



保健福祉

高齡福祉事業

□少子化対策

産業

□名産品とPR

今年4月1日の市内の75歳以上の人口は、1万3084人でした。市全体の人口から見ると、100人のうち約9人が75歳以上になり、高齢化率は年々上昇している状況です。

市が主に行っている「老人福祉事業」は、寝たきりの方を訪問して整髪や洗髪などを行う事業、ひとり暮らしで調理が困難な方への配食サービス事業や急病等のときに押しボタンで通報できる緊急通報システム事業などがあります。また、市の特色ある事業には「生きがい対応型デイサービス事業」があり、市内の中学校区ごとに、現在6カ所設置され、空き家などを活用した高齢者の生きがいづくりや仲間づくりをしています。

もろん今年度 高齢者が病院への行き
帰りや買い物などに、安心して利用でき
る「のいあいタクシー土浦」の支援をして
います。これらの福祉事業を進める今年
度の予算是、約3億5000万円です。

また、専門の事業者からサービスを受
けられる介護サービスなど介護保険事業
の今年度の予算是、約68億5000万円
となっています。

市では、今後も高齢者へのやさやまな
支援と福祉の充実に努めます。

藤沢小学校
桜井菜摘さん

藤沢小なみ 桜井 菜摘さん 高齢者に対する福祉 事業について

全国的な少子化の進行に対応して、市では、未来を担う皆さんに健やかに成長できる環境を整備するために、平成17年3月に「つかうら新ごどわツン」を作りました。これを実現するため、さまざまな福祉事業に取り組んでいます。

まず、年齢の違う子どもたちの仲間づくりの場として「チャレンジクリップ」事業や乳幼児を育ててていける親同士が、活発な交流ができるようになり、料理教室などいのちのいろな講座や乳幼児家庭教育学級事業を催し、また児童館では、子どもの遊び場、交流の場として、たくさんのイベントを実施しています。

「子育て交流サロンわらべ」では、子育て情報の提供や相談を行い、連日多くの方に利用されています。保育サービスでは入所希望に応じて、計画的に保育所を増設し、「休日保育」や「延長保育」、「一時保育」などの保育事業も拡大しています。子どもの医療については、市では、今年の7月の医療費支払から、小学校入学前のすべての乳幼児に対し、また小学一年生から中学3年生までの入院時に對し、自己負担分を無料に拡大しました。今後も少子化対策を推進していきます。

野原和南
勇希さん
子どもに対する福祉
制度や少子化対策について

(保健福祉部長)

(四)

(産業部長)

産業



- キララちゃんバス
- 花火大会の渋滞対策
- 産業・文化等のPR



宮本
眞鍋小
あきほ
さん
**キララちゃんバスの
走行エリア拡大の予
定はありますか**

キララちゃんバスは、NPO法人まちづくり活性化土浦が主体となり、平成17年3月から運行をしていますが、中心市街地の活性化を目的にしていることから、「中心市街地の周辺だけの運行に限られる」と、「ほかの民間バス路線と異なるコースを走らなければならぬこと」、「ほかの民間バス路線と異なるコースを走らなければならぬこと」などの条件があります。

このようなことから、多くの市民の方から運行エリアをほかの地域にも拡大して欲しいとの声は聞いています。キララちゃんバスの運行を拡大することは、大変難しい状況にあります。

今年度から市では、自宅から目的地まで低料金で利用できる「のりあいタクシー土浦」の費用の助成を始めましたので、エリア外のお年寄りの皆さんには、ぜひ利用していただきたいと思います。

バスなどの公共交通については、今後2年をかけて、市民の皆さん利用状況を調査したりご意見を聞いたりしながら、多くの人に利用していただくための計画を作っていく予定です。

皆さんも、公共交通の大切さについて勉強して、環境面にも配慮し、公共交通を利用するよう協力を願っています。

(瀧ヶ崎副市長)



塚原
高津小
あかり
さん
**花火大会の大渋滞を
防ぐため工夫をして
いることはありますか**

土浦全国花火競技大会は、大正14年に始まり、今年で77回目となる歴史と伝統を誇る花火大会です。日本全国から、腕自慢の花火師が集まり、日本一を競い合う市で一番大きなイベントで、昨年は過去最高の80万人の人出となりました。毎年、大渋滞が発生するので、市ホームページやチラシなどで、公共交通機関の利用を呼びかけるとともに、土浦駅から会場まで臨時のシャトルバスを走らせています。

また、車を利用して来場する方のため、市内31カ所に約5000台分の臨時駐車場を設け、市職員や警備員などを配置してスマートな誘導に努めるほか、ラジオで空き状況を案内していますが、大会が始まる前にはどこも満車となつて、周辺の道路は大渋滞となっています。

これからも駐車場を増やす努力をするとともに、車の誘導方法についても研究していくますが、皆さんも、花火大会へ来場の際には、電車やバスを利用して、ただくようご協力を願っています。

今後も、警察署をはじめ関係機関と連携して交通渋滞の解消を図り、土浦の花火を楽しんでいただけるよう、名実ともに日本一の花火大会にしていきます。



笠原
土浦小
啓太郎
さん
**土浦の良さを知つて
もらうための取り組
みや工夫について**

市には、歴史や自然、イベントなどさまざまな観光資源があります。これらのPR方法としては、「土浦市観光ガイドマップ」を作成・配布しているほか、イベントのチラシやポスターを作成し、JRの駅やいばらき情報ステーションに掲示したり、県や周辺市町村と共同で常磐高速道路のサービスエリアや東京周辺の主要な駅で、観光キャンペーンを行っています。

また、土浦フィルムコミッショントー組織をつくり、テレビや映画のロケ地の紹介など、積極的な情報提供を行うほか、市や観光協会のホームページを通して情報を発信にも努めています。

市は、数千万人の人口を抱える首都圏から観光客の誘致を図るうえで極めて有利な位置にあります。

現在、市では観光によるまちづくりを進めるため「観光基本計画」の策定を進めしており、この中で、情報を効率的かつ効果的に伝える手法について検討し、多くの観光客に本市を訪れていただけるように努めています。

皆さんも、どこかへ行ったときは、観光大使になつたつもりで、土浦の素晴らしさをPRしてください。

(市長)



都市整備

□道路整備

スポーツ・教育

□かすみがうらマラソン

□学校の統合



清水和小
杉仁さん
通学路の歩道の整備について

清水さんたちが通学路として利用している主な道路は、国道125号バイパスから都和中学校方面への道路と学校正門前から板谷方面に向かっている道路の2本があると聞いています。

都和中学校方面への道路は、中学校に通うお兄さんお姉さんたちとも一緒にいるので、狭く感じたり、大きな車が通り過ぎていくときは危ないと感じます。

その解決策として、歩道を広げる整備方法もありますが、土地所有者の土地の提供などが必要となりすぐに整備することができ困難です。しかし、歩道の幅を広げず現状の中で、ガードパイプなどの安全施設を設置したり、歩道内に立っている規制標識やカーブミラーの支柱を移設することでも少しでも歩道が広く使えるようになります。これらの改善については、早い時期に実施します。

次に、板谷方面への道路については、登校時間帯の午前7時30分から8時10分までは、自転車と歩行者だけが通行できるように規制されています。しかし、この規制を守らない車の進入も多いため、規制案内看板などを置いて、皆さんのが安心して通学できるようにしていきます。

(建設部長)

この大会は、「ランナーから常に高い評価を受けています。その理由は、障害者を含め誰でも参加できる」とや、「風光明媚な霞ヶ浦湖畔を走るコースである」と、コース沿いの心のこもった温かい応援などが、選ばれた大きな理由となっています。

この質問の「この大会を全国にアピールするための今後の方向性について」ですが、これまでにもポートランダマラソンと姉妹レースを結んだり、北京マラソンへの選手の派遣など、積極的に行なってきました。特に今年は、シドニーマラソン大会と姉妹レースの契約を結びましたので、これからシドニーとの間で、優秀選手の交流を図っていきます。

(市長)

一つの学校の児童数があまり少なくなってしまうと、大勢の友だちの意見を聞いたり、友だち同士で励ましあつて勉強したり、運動したりすることが難しくなってしまうことがあります。

学校には、それぞれの歴史や伝統があり、今通っている人、地域の人たちに愛され、親しまれているものです。こういったことから、学校の統合や通学区の見直しは、県が示した基準どおり、今すぐにできるものではありません。

自分の母校である上大津西小学校に対する思いもよく分かりますので、地域の人たちや卒業生などと十分に話し合いをして、みんなが良いと思う方法を見つけていきたいと思います。

(教育長)

かすみがうらマラソン大会は、4月20日、全国から2万118人の申し込みがあり、盛大に開催しました。この大会は、参加料の一部を霞ヶ浦の水質浄化を広める運動に使っています。

また、この大会のもう一つテーマは「体験する福祉」で、視覚障害の方も伴走者が付き添ってレースを進めることができます。さらに、「盲導犬を育てる事業のお手伝いをするなど、福祉への意識を高める活動を行っています。

この大会は、ランナーから常に高い評価を受けています。その理由は、障害者を含め誰でも参加できる」とや、「風光明媚な霞ヶ浦湖畔を走るコースである」と、コース沿いの心のこもった温かい応援などが、選ばれた大きな理由となっています。

この質問の「この大会を全国にアピールするための今後の方向性について」ですが、これまでにもポートランダマラソンと姉妹レースを結んだり、北京マラソンへの選手の派遣など、積極的に行なってきました。特に今年は、シドニーマラソン大会と姉妹レースの契約を結びましたので、これからシドニーとの間で、優秀選手の交流を図っていきます。



小川佳さん
かすみがうらマラソンを全国にアピールするためどのような計画がありますか



上大津西小野ゆかりさん
児童の数が減っていますが、学区を見直したりする計画はありますか

日野さんが見た新聞の記事は、「児童数が減っている学校の統合について、県が示した基準に関するもの」です。

市内の小学校で、県の基準より小さな学校は7校あり、上大津西小学校もそのうちの一つです。児童数は81人で多いときと比べて99人(約55%)減っています。市全体でも、現在の児童数は8167人で、多いときと比べて4206人(約34%)減っています。これからも少しづつ減っていくと思われます。

一つの学校の児童数があまり少なくなってしまうと、大勢の友だちの意見を聞いたり、友だち同士で励ましあつて勉強したり、運動したりすることが難しくなってしまうことがあります。

学校には、それぞれの歴史や伝統があり、今通っている人、地域の人たちに愛され、親しまれているものです。こういったことから、学校の統合や通学区の見直しは、県が示した基準どおり、今すぐにできるものではありません。

自分の母校である上大津西小学校に対する思いもよく分かりますので、地域の人たちや卒業生などと十分に話し合いをして、みんなが良いと思う方法を見つけていきたいと思います。

教 育

□学校給食

□校庭について



現在、乳製品やパンの原料である小麦粉、さらには、燃料である原油の値上げが続いており、パンやめん、おかずの材料など多くの食品が値上がりしていきます。市の学校給食は、毎日、約1万2500食を作つてあり、食材の値上がりは、給食にも影響をしています。献立の工夫や配食量を加減するなど、工夫をしながら取り組んでいて、給食費の値上げや給食の回数を減らさないように努めています。

次に、給食費を支払わない家庭への対策についてですが、残念なことはあります。納めていない家庭は、年々、増えています。

給食食材の購入は、給食費で賄うことになっていますので、納めない家庭が多くなると、いろいろな食材を購入することができなくなってしまうことから、給食費を納めない家庭に対しては、担任の先生が連絡を取り、納めるようお願いしています。

学校給食は、食品の値上げや給食費の未納など問題はありますが、皆さんには、「安全な食材で、栄養のある、おいしい給食」を食べてもらえるように努力しているります。

**久木田茉優さん
土浦第二小学校
給食費の値上げや、
給食費を払わない家庭への対策について**



**土浦第二小学校
給食費の値上げや、
給食費を払わない家庭への対策について**

東小学校は、これまで何回も学校の敷地を広げてきて、今の敷地の面積は全体で1万4724m²で、これは少年サッカーフィールド3面半の広さになります。

そのうち、運動場の面積は7020m²で、少年サッカーフィールド約2面分の面積になります。文部科学省が決めている小学校の運動場面積の基準では、東小学校と同じような児童数の学校の場合4200m²であり、東小学校はこれを超えています。「校庭を広げることはできないか」ということですが、東小学校は高台の上に建っていて、周囲は道路と急なガケで、北側はお墓にくつづいており、今の校庭を広げるとは難しいところです。

また、学校の敷地の中の駐車場や動物小屋、花壇などを運動場にする、不便になつたり、学校が寂しくなつたりしてしまいます。

休み時間の過ごし方は、大勢の友だちとお互いに譲り合つて、迷惑をかけずに、元気よく、楽しく過ごすことだと思います。サッカーをしたい人は残念かもしれないが、休み時間を楽しく過ごせるよう、今の運動場の中で、工夫をしながら遊んでほしいと思います。

(五頭副市長)

**岡田健社さん
東小学校の校庭を広げたり、学校を分けたりする計画はありますか**



東小学校の校庭を広げたり、学校を分けたりする計画はありますか

子ども模擬議会に参加して、市内の小学校20校の友だちと、市長さんをはじめ、市の執行部の皆さんとの協力により、無事に大役を務めることができました。ありがとうございました。

私たち、社会科の授業で、議会について学習しますが、今回議会がどのように進められていくのかを体験することができます。

市議会では、「日本一住みやすいまち 土浦」をつくるために、さまざまな意見を出し合つて、熱心に討議されているということがよく分かりました。

これからも、「水・みどり・人がきらめく、安心のまち、活力のまち土浦」を目指して、頑張つてください。私たちも、今回の貴重な体験を大切にして、土浦市の発展のために協力したいと思います。

議 長



後半議長
日野ゆかりさん



前半議長
笠原啓太郎さん



答弁者紹介



市長
中川 清



副市長
瀧ヶ崎 洋之



副市長
五頭 英明



教育長
富永 善文



市長公室長
市川 昇



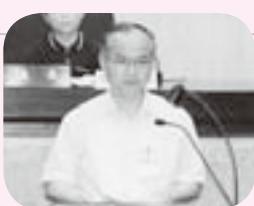
総務部長
土肥 文夫



市民生活部長
石神 進一



保健福祉部長
小貫 俊男



産業部長
桜井 久夫



建設部長
青山 良夫



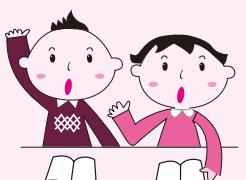
都市整備部長
古渡 善平



教育次長
久保庭 照雄



消防長
中川 新衛



平成20年
子ども模擬議会